

令和元年第3回芸西村議会定例会 一般質問通告一覧表

一般質問（第2日）：令和元年9月11日（水）

質問者	質問の件名	質問の要旨	答弁を求める者
宮崎義明	災害への備えを万全に	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地震発生時に想定される地震火災による物的・人的被害の軽減策として「出火の防止」、「延焼の防止」対策が考えられる。個々の対策では不十分なため地域一体としての取り組みが必要だ。</li> <li>・ 村内全世帯に対して感震ブレーカーの設置を。</li> <li>○ 避難勧告・指示を住民の行動や消防団活動にどのように結びつけるのか。</li> <li>・ 豪雨時には雨音で放送が聞けないため、低地のハウス農家への告知はメール配信だと思うが、芸西村メール配信が農家に対して十分に活用されているか。</li> <li>・ 消防団員は出動すれば常に危険と対峙しているが、水害や土砂災害出動の消防団員に対する活動中止の退避基準は策定されているか。</li> </ul>	村長
岡村俊彰	3歳児検診での弱視検査の実施は	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3歳児検診にスポットビジョンスクリーナーでの弱視検査は実施されているとのことだが、いつから実施しているのか。</li> <li>○ これまでの結果及び成果はどうか。</li> </ul>	村長
安芸友幸	グローバル社会で輝ける子どもの育成を	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 全国学力・学習状況調査（学テ）の結果（全国・県と比較して）、前進したこと、課題、今後の指導の重点について</li> <li>② 英語教育について（カリキュラムマネジメントを推進するために） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育～中学校までを見通した一貫教育の研究を。</li> <li>・ 研究の推進リーダーと支援できる人材活用を。 （教員の働き方改革、地域住民や退職教員の協力）</li> <li>・ 夢のもてるコミュニケーション活動を （小学校段階からわからない、英語が嫌いな児童対策） （ICTの活用で遠隔地や海外の子どもとのコミュニケーション）</li> </ul> </li> </ul>	教育長
	若者の投票率を上げるにはどうすればよいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 18歳選挙権以後の選挙の当村の投票率（年代別）</li> <li>② 10代の投票率が低いことをどう考えるか。</li> <li>③ 当村学校の主権者教育の取り組みはどうか。</li> <li>④ 一人ひとりが主権者意識、社会の主人公という意識をもつことが大切だと思うが村長はどう考えるか。</li> <li>⑤ 社会問題や地域の課題などを年代を超えて話し合う場が必要ではないか。（地区懇の工夫）</li> <li>⑥ 選挙の情報発信、啓発活動、投票の仕方や場所などの工夫をしてはどうか。</li> </ul>	村長
松坂充容	和食津波避難タワーについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ なぜ屋上を避難場所とし、屋根のない構造にしているのか。</li> <li>○ 雨、風をしのげるように改良すべきではないか。</li> </ul>	村長